

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

事業所名：たまりばレッド

公表：令和3年2月1日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			・10名の定員でゆとりのある空間であると思う。 ・部屋が幾つかに分かれているため、活動内容によって分けたり障害特性によって過ごす部屋を分けて支援することができている。
	2	職員の配置数は適切であるか	6			基準を満たしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6			手すりやエレベーター、車イスの入れるトイレなどある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	1		・朝や昼などミーティングの時間を設け、情報の共有や職員間の連携を行うことができている。 ・時間によってはパートさんのミーティング参加が難しいことがあるが、個別で対応することができている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			毎年アンケートを実施して意向の把握・業務改善に努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			ホームページにて公表を行っている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		1	5	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			内部研修や外部による研修など積極的に参加し、支援の質の向上に努めている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1		アセスメントを定期的に行い、取り組むべき課題などを細分化し、スモールステップで利用者さんにとって負担のないような計画を考え、支援を行うようにしている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1		アセスメントを取りたい内容に応じて使い分けて行い、そこから課題となることや利用者さんの成長度合いなどを把握することができている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			毎月の事業所会議や日々のミーティング時に職員間で話し合い、活動の企画・立案を行うことができている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			固定曜日で利用をしてもらっているため、同じ活動でも内容を変更するなどの工夫をして活動を行うことができている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6			休日には個別課題の時間を多めに取り入れたり、活動の時間を延ばすことを行ったり、平日には限られた時間で取り組める活動内容を取り入れるなど工夫をして支援を行っている。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			利用者さんの障害特性やニーズに応じて活動形態を分けて行うとともに、そのことを計画内に記載している。	

	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			必ず1日1回、日によっては2回の打ち合わせを行い、その日のトイレ介助の担当や活動を回す人などの役割分担を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	2		その日のことをその日のうちに行うことは難しいので、あまりできないが、次の日など別日で振り返りを行うことができている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			トイレの排泄状況や課題に対する達成度など記録表をもとに細かく記録をとっている。また、業務日誌にてその日の支援について記録を残すようにしている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			最低半年に1回、または利用者さんの様子によっては2.3か月などモニタリングを行い、職員間で会議をして計画の見直しをすることができている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	6			自立支援や創作活動など利用者さんのニーズをもとに組み合わせさせて支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			児童発達支援管理責任者を筆頭に、管理者や担当者などが会議に出ている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6			年間予定表などの学校通信は保護者を通して情報を得ることができている。また、送迎時にはその日の出来事を担任の先生から伝えてもらっている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5		1	現在、医療的ケアが必要な利用者さんはいないが、今後受け入れる場合は、緊急連絡先や対処方法など必要な情報を得られるようにしていきたいと思う。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	5		直接、通っていたところの管理者の方とのやり取りは現在行っていないが、保護者の方からそこで様子や支援方法などの書類があった際はいただくようにし、支援の参考にしている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	5		今年、学校を卒業する利用者さんがいないため、情報提供は行わなかったが、もし居た場合は、担当者会議などを行い、引き継ぎがスムーズにできるように必要な記録を提供するようにしている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1		今年は、虐待防止研修を行っていただき、助言をいただくことができている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		4	2	毎年は年に数回行うことができているが、今年はコロナウイルスの影響により、外出をすることができなかった。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	5		今年はコロナウイルスの影響もあり定期的な協議会への参加は難しかった。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			連絡用ツール(コドモン)にてその日の様子をお伝えしていると共に、送迎時や面談を通して利用者さんの様子を伝えあい、連携をとることができている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	1		・全ての保護者の方に対してペアレント・トレーニングを行うのは難しい。 ・面談時にどのようなことがご家庭でできるのか話し合い、できることから始めていけるように助言をしている。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			契約時に必ず説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			面談や送迎時、連絡用ツールなどで気軽に相談できる環境を整えている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	6		今年はコロナウイルスの影響もあり、開催することは難しかったが、毎年行うように企画している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			苦情受付窓口を設け、もし苦情があった際は、適切に対応することができている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			毎月の月予定を保護者の方に配布し、イベントの際は必要な持ち物や掛かってしまう金額についてお知らせの案内をし、丁寧に説明をすることができている。
	35	個人情報に十分注意しているか	6			鍵付きの書庫にて厳重に保管している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			利用者さんに対しては、絵カードやジェスチャー等、視覚的に理解しやすいよう配慮を行っている。保護者の方に対しては、連絡事項を直接伝えたり、必要に応じて手紙を配布するなど行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		1	5	コロナウイルスの影響もあり今年を行うことができなかった。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6			書面にて周知するとともに、職員に対しては、誰でも見られるように所定の場所にファイリングをし、特に重要なマニュアルについては目の届く場所に掲示するようにしている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			年に2回避難訓練の実施を行い、今年は普通救命講習を消防署の方から訓練を受けることができた。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			虐待防止マニュアルを定期的に読み合わせを行い、外部講師を招いての研修を行った。また、虐待防止の貼紙の設置をし、職員への意識づけをしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			やむを得ず身体拘束を行うおそれのある利用者さんを含め、すべての利用者さんの保護者の方には身体拘束についての説明を行い、個別支援計画に記載し同意を得ることができている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	2		現在、食物アレルギーのある利用者さんはいない。以前利用者さんでアレルギーを持つ子がいた際は、医師による指示書をもらい、保護者の方には対応方法について実際に講習を行ってもらい、適切な対応方法について学んでいた。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			日々の支援でヒヤリハットの場面が見られた際には報告書を作成し、その後ミーティングにて周知をし再発防止について考え支援を行うことができている。